

## 授業を大切に！

授業の様子を見に教室に行くと、「校長先生、全然わかりません」「赤点とっちゃいそうです」「単位取れないかもしれません」と悲鳴に近い苦しい言葉を聞きます。また、言葉にせず、「あきらめて」うつ伏す生徒もいます。しかし、次の時間、別の授業では、授業に集中し頑張っている姿を見て驚くことがあります。



「**良い授業**」とは、「**分かる**」授業ですよね。一方的に話し続けられる授業は、その情報量の多さはすごいと思いますが、理解はできません。例えば、ゲームで考えると、操作方法等を長々説明されても上手くなることはありません。まず操作をして、上手いかず、どうすればクリアできるかを考え、調べて（人に聞いたり、本を読んだり）、再度挑戦する。そんな構成ができると、継続して楽しく上達できますよね。だから、操作**説明は短く簡略化**しているものが分かりやすい。

授業も一緒です。**大切なことは、「やってみる」、そして分からないことは「分からない」と表現し、「先生に解決策を教えてください」**です。分からないこと、できないことをそのままにせず、必ず先生に助けを求めてください。

ちなみに、分る授業の特徴をまとめると次の三つに気が付きます。

- 今日の授業で身に付けてほしい知識・技術が明確に示されている。
- 今日の授業でどこまで進むのかの予定が明らかになっている。
- 最後に、今日の授業のまとめ（目標達成度）をしっかりと行っている。

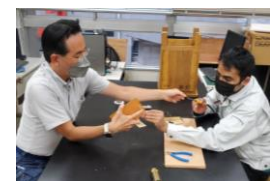
この他、先生方はICT等の利活用や、教え合い活動など、様々なことに挑戦し、先生だけがずっとアクティブな授業スタイルを**変化**させようとしています。

## ぶらり、あらこう散歩

【全日】「**実習の記録は未来の自分への手紙**」と指導するのは、情報技術科の河野先生。マイコン実習で毎時間「新たに分かったこと、上手いかなかったこと」を記録し、次の授業開始時に振り返り学習をつなげていきます。自分のために書く記録は、分かりやすく、失敗したこと等を書き出すことで、エラーメッセージを見て**自分の力で修正できる力**につながっていました。



【定時】課題研究でLED電光掲示板の作成にチャレンジするカトリ君。**必要となる材料を自分で買いそろえ挑戦開始**。LEDの基盤へのはんだ付けを通して、指先の感覚を丁寧に指導する松浦先生。「**失敗しても、それも勉強。まずは、挑戦することが大切**」と熱い指導。月一回ぐらい進捗を追いかけたくなりました。がんばれ！カトリ君！ **アクティブになれ荒工生！**



**「未来を創る！彩る！荒川工業」**